

第1回検討会における主な指摘事項への対応・考え方

「第1回 生物多様性の経済的価値の評価に関する検討会」において、アンケート調査票や生物多様性の経済価値評価に関する Web サイトについて、検討委員から指摘を受けたため、主な指摘事項への対応・考え方を以下のとおり整理した。

表1 アンケート調査票に関する主な意見・指摘に対する対応方針（対応状況）

第1回検討会での主な意見・指摘	対応方針（対応状況）
<ul style="list-style-type: none"> 提示金額は予備調査で決定するべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 予備調査で提示金額を決定。（支払カード形式【加えて自由回答形式】）
<ul style="list-style-type: none"> シナリオ（目標）が現実からかけ離れているのではないか。 奄美のシナリオが、環境が悪化することを回避するのか、現状の環境を改善するのが明確でない。 シナリオの文章が詳しすぎる、施策部分を強調し過ぎている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回検討会后、検討委員に照会しながら、予備調査で提示するシナリオを再設定した。 予備調査では、シナリオ（目標）の実現性を問う設問を追加した。調査の結果、いずれのアンケートも6~7割が、シナリオの実現性について肯定的な回答をした。
<ul style="list-style-type: none"> 設問を読まずに回答する人を判別する工夫が必要であるが、現行案（ダミー設問案）は好ましくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ダミー設問を削除した。 アンケート回答に係る総時間及びシナリオ部分の回答時間を計測し、極端に回答時間が短いものは無効回答とした。
<ul style="list-style-type: none"> シカの受益範囲を全国一律とするのではなく、都道府県別等に区切って算出したほうが良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 居住地域と支払意思額の関係を確認した。
<ul style="list-style-type: none"> シカの食害対策について、個体数管理の説明の仕方によって支払意思額が異なるのではないか。予備調査では個体数管理を示すアンケート、示さないアンケートに分けてみてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 個体数管理への賛否と支払意思額の関係を確認した。 設問の中で、一部の地域で肉や毛皮について有効利用していることを説明した。
<ul style="list-style-type: none"> 設問が多い、分量が多い、用語が難しい、不要な設問がある、設問に対して選択肢が不足、設問間の不整合がある、設問の順序に不具合、「知っている/知らない」を多用しすぎ。（考えを問うような設問が良い） 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回検討会后、検討委員に照会しながら、調査票を修正した。

表 2 Web サイトに関する主な意見・指摘に対する対応方針（対応状況）

第 1 回検討会での主な意見・指摘	対応方針（対応状況）
開発と環境の対立は、非利用価値が影響している。非利用価値を評価することの必要性を示すことが重要。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非利用価値の評価に関する情報（事例等）を多く掲載する。
専門としない方への配慮もする一方で、NGO や地方自治体関係者等、実際に経済価値評価に携わる方々のニーズも満足させるべきである。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に評価を進める際に参考とすべき資料を、参考資料集に整理する。
専門用語には注意すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物多様性や経済価値評価に慣れていない人にも理解してもらえよう、平易な文章とする。